

## 平成 29 年度第 4 回 広島市病院事業地方独立行政法人評価委員会 会議要旨

1 開催日時 平成 29 年 8 月 22 日（火）18 時 00 分～18 時 47 分

2 開催場所 広島市役所本庁舎 14 階 第 7 会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員

秋山委員長、川本委員、木矢委員、松村委員、吉中委員

#### (2) 臨時委員

吉川委員

#### (3) 事務局

健康福祉局長、保健部長、市立病院担当部長、市立病院担当課長

### 4 議事

地方独立行政法人広島市立病院機構の第 2 期中期目標（素案）について

### 5 公開・非公開の別

公開

### 6 傍聴者

一般傍聴者 2 人

報道機関 1 社

### 7 会議資料

資料 1 地方独立行政法人広島市立病院機構の第 2 期中期目標の作成について

資料 2 地方独立行政法人広島市立病院機構中期目標の体系比較

資料 3 第 1 期中期目標と第 2 期中期目標（素案）の概要の比較

資料 4 第 1 期中期目標と第 2 期中期目標（素案）の比較

参考資料 1 地方独立行政法人広島市立病院機構の第 2 期中期目標の作成に係る関連施策等との関係性

参考資料 2 地方独立行政法人広島市立病院機構の第 1 期中期目標期間中の業務実績に係る評価結果（大項目）

参考資料 3 地方独立行政法人広島市立病院機構中期目標（第 1 期）

参考資料 4 地方独立行政法人広島市立病院機構中期計画（第 1 期）

### 8 会議要旨

#### (1) 中期目標の作成についての説明について

##### ア 説明

- 事務局（市立病院担当課長）が、資料 1 により中期目標の作成に係る基本方針や作成方法、スケジュールなどについて説明。

##### イ 質疑・意見交換

なし

## (2) 中期目標（素案）等の作成についての説明について

### ア 説明

- ・ 事務局（市立病院担当課長）が、[資料2](#)、[資料3](#)、[資料4](#)、[参考資料1](#)、[参考資料2](#)により審議事項の概要を説明。

### イ 質疑

#### [木矢委員]

- ・ 200万人広島都市圏構想について、具体的に教えてほしい。

#### [事務局（市立病院担当課長）]

- ・ 広島市と周辺の市町での将来の人口200万人を維持していくために、各種施策をやっていこうという計画がある。その計画に沿った形で中期目標を固めたいと思っている。

[参考資料1](#)の「広島広域都市圏発展ビジョン」のところに記載している「広島市立安佐市民病院の拠点性強化」がそれである。その他にも、広島市だけでなく、周辺市町に関わる様々な施策や取組がこのビジョンに入っている。

#### [事務局（市立病院担当部長）]

- ・ 補足だが、200万人広島都市圏構想は、広島市を中心として半径60km圏内の市町を指して、東は三原市、西は山口県の柳井市、田布施町、周防大島まで、北部は安芸高田市、北広島町など、あの辺りを全部含んだ、日常生活圏域が一体になっているのであろう都市である。現在の人口は200万人を超えているが、将来推計で200万人を割る勢いである。これを維持するために関係市町が手を携えて、協力しあってやっていこうというもので、これを掲げて施策を展開している。その中の施策のひとつとして、さきほど説明した「広島市立安佐市民病院の拠点性強化」というものもある。その土俵の上で、安佐市民病院の拠点性の強化をやっていきたいということ。

#### [木矢委員]

- ・ 発展ビジョンの中で、医療分野でいうと安佐市民病院がその一例か。

#### [事務局（市立病院担当部長）]

- ・ そうである。

#### [秋山委員長]

- ・ 第2期の目玉はあるのか。

#### [事務局（健康福祉局長）]

- ・ それぞれ大項目が設定されていて、病院の運営や経営で必要なものがベースにあるので、目玉というものはない。

#### [秋山委員長]

- ・ 第3のところは、第1期の時は、よくわからなかったが、小項目がひとくくりになってわかりやすくなった。

#### [事務局（市立病院担当課長）]

- ・ 第3の「2 人材の確保、育成」と思われるが、内容については、素案の中でも概ね網羅しているが、機構が計画レベルで詳細を記載できるような項目としてまとめている。

#### [松村委員]

- ・ 時代が大きく変わっており、前回、計画を作った時と病院を取り巻く環境は激変している。保健医療計画も来年度からスタートするが、その文言さえない。4病院をどういうふうに変更するかというのは、広島県の医療の一番大きな問題であるが、そこへの危機意識が見られない。

4(1)に「基幹病院等のみならずかかりつけ医を始めとする地域の医療機関との適切な役割分担と連携」とひとくくりになっているが、「かかりつけ医と地域の医療機関との連携」と「基幹病院と4病院が今後どうするか」ということは別物である。安佐市民病院が役割・方向性が一番決まっていると思うが、広島市民病院と舟入市民病院は、基幹病院に含まれているので、地域から求められている医療、すなわち役割は何かというところをもう少し大きな項目として取り上げてもらいたい。

それからもうひとつ、機構全体の組織の見直しが必要。項目で言えば、「1 市立病院として担うべき医療」「2 医療の質の向上」「3 患者の視点に立った医療の提供」は、各病院の病院長でできることだと思う。組織としては地域の基幹病院や地域の医療との調整をしていく必要がある。2期目に入るには、機構の役割、各病院の役割をもう少し明確化して、理事長のリーダーシップを強化するのではなくて、逆に病院長のリーダーシップをもっと強化しないと現場の意見が反映しなくなるのではないかという危惧を持っている。そのため、もう少し見直しを提言したいと思うが、組換えの必要やどこを重点的にするのかということを考えてもらいたいし、考えたい。

#### (3) 意見送付シートの説明

##### [事務局（市立病院担当課長）]

- ・ 第2期中期目標（素案）について御意見をいただきたい。提出は、このシートに記入いただき、FAXかメールでお送りいただきたい。8月31日の木曜日までに送付いただきたい。いただいた御意見を基に、次回の会議でご審議いただく第2期中期目標（案）を作成するよう考えている。

#### (4) 事務連絡

##### [事務局（市立病院担当課長）]

- ・ 次回の評価委員会は9月11日月曜日の18時30分からこの会場で開催させていただき、第2期中期目標案についての審議を予定している。